

いま起きている5つの変化・・・それは今日の判断にどう効くか

業界のニュースは、そのままでは自分の買い物とつながりません。ここでは「で、自分は何をすればいいのか」まで書きます。

右端の色は、その変化が自分の判断に効いてくる時期です。緑＝いますぐ／金＝数年内／紫＝もっと先。

変化 何が起きているか	中身 もう少し詳しく	買う人への影響 自分の財布と生活に	今日できること 具体的な行動	効いてくる時期
01 電動化 動力の選択肢が一度に増えた	ハイブリッド・プラグインハイブリッド・電気自動車・燃料電池車。どれが主流になるかはまだ決まっていない。会社ごとに賭け方がちがう	燃料代と税金が変わる。中古では駆動用電池の状態が価格を左右する。充電できる環境があるかで価値が半分変わる	自宅で充電できるか確認する。できないなら、電気自動車は候補から外して考える	いますぐ 自分の環境で決まる
02 運転支援 特別な装備ではなくなった	自動で止まる、車間を保つ、車線をはみ出さない。軽自動車にも入っている。新車には装備が義務づけられた	同じ車種でも年式で装備がちがう。中古では、ここが数十万円ぶんの価値の差になる	候補の車種が、何年式から自動ブレーキを積んでいるかを調べる	いますぐ 中古選びに直結
03 つながる車 後から機能が更新される	通信につながり、地図や機能が更新される。スマホと同じ考え方の車が増えていく	通信の契約料が要ることがある。更新がいつまで続くのかという新しい確認事項が生まれた	通信機能の費用と、サポートの期間を販売店に聞く	数年内 維持費の新しい項目
04 持ち方が増えた 買う以外の道ができた	カーシェア、レンタカー、月額で乗るサービス、残価を差し引いて月々を安く見せる払い方	選択肢が増えたぶん、比べにくくなった。月々の安さに目を奪われると、総額で損をしやすい	年に何回車を使うか数える。週1回以下なら、持たない選択肢も計算してみる	いますぐ 総額で比べる
05 人が減っている 車の意味が二つに分かれた	人口減、免許返納の増加、都市部では持たない選択。一方で公共交通が減った地域は車が生活の前提	販売店の統廃合が進む。近くに直せる場所があるかが、これまで以上に重要になる	候補メーカーの販売店を、自宅から近い順に3つ書き出す。片道の時間も書く	数年内 住む場所で差が出る

 **今日いちばん効くのは02**

中古車を見るなら、運転支援の装備が入った年式かどうかが最大の分かれ目です。同じ車種・同じ距離でも中身がちがいます。安さだけで年式を下げると、いちばん大事な装備を失うことがあります。

 **ニュースは自分の環境に翻訳する**

「電気自動車が伸びている」は、そのままでは判断材料になりません。自宅で充電できるか。その1問に翻訳した瞬間、答えが出ます。業界の話は、必ず自分の生活の言葉に置き換えてください。

 **分からないことは分からないままに**

どの動力が主流になるか、価格が下がるかは誰にも分かりません。断定している情報ほど外れます。確かなことと、まだ決まっていないことを分けて考える。これは車に限らず大きな買い物すべてに効く態度です。